

ほしくみだより NO.2

蔵の街遊覧船に乗ってきました！(4/28)
お天気にも恵まれ楽しいひと時でした♪



蔵の街遊覧船について

栃木市は江戸末期から昭和初期にかけて江戸との舟運での交易で栄えた問屋町です。北関東有数の商都と呼ばれ、江戸からは物資のみならず多くの文化が栃木市に流入し、その名残から今なお小江戸と呼ばれています。

当時の舟運を再現する蔵の街遊覧船では、街中を流れる巴波川(うずまがわ)の川面から、情緒ある蔵の街並みを楽しむことができます。

船上では、粋な船頭が巧みな竿さばきで「栃木河岸船頭唄」と共に栃木市や巴波川の歴史を案内してくれます。



幸来橋からみんなで歩いて行ったよ！



さあ、お舟に乗るよ

ちょっとドキドキ

いよいよ出発です 《舟がでるぞー！ オー!(^^)!》

船頭さんに教えてもらったかけ声で舟が出発です！昔、栃木からは米・麻・石灰等を江戸に、江戸から栃木には、糖、酒、油等を舟で運んでいたそうです。

船頭さんが素敵な歌も聴かせてくれました





気持ちいいね！



橋の下も通ったよ！



こいのぼりは、1151匹 (いいこい) 飾ってあるんだって！びっくり!!

優しい船頭さんが、コいの餌を一人一袋下さいました(#^.^#)
コイさんがたくさん集まってきたね！





遊覧船に乗った後は、待合所で金魚などのお魚を見たり、水琴窟で水の音を聞いたりしました。



☆記念写真☆

水が出てきたよ！



こち良い風を感じながら、ずっと楽しみにしていたお舟に乗れてとても楽しかったね!(^^)!
青空の下で気持ちよさそうに泳いでたこいのほいさんが、色鮮やかでとても綺麗でした！



今度は、おうちの方も是非ご一緒に乗ってみてはいかがですか？